

ジャンル	子ども・教育	日本語学習	医療・福祉	労働	災害対策	意識啓発 地域づくり	推進体制の 整備	その他
事業名	外国人防災リーダーによる地域支援事業							
団体名	横浜市							

\*\*\*\*\* 事業のポイント \*\*\*\*\*

横浜市泉区のいちよう団地地区は、住民の3割が外国籍市民で、日本人住民の高齢化が進むなか、地域の担い手として「外国籍・外国にルーツを持つ(以下『外国につながる若者』という)が期待されている。そこで、外国につながる若者が、防災に関する知識・技術を習得し、「外国人防災リーダー」として、地域住民に対し、母国語を使用した防災活動を実施している。

また、本市の災害時避難場所である地域防災拠点で「多言語による災害情報の発信・避難生活における相談」等を行い、災害発生時の外国籍市民の不安解消を図っている。

助成年度	平成 23 年度地域国際化施策支援特別対策事業	事業総額	395千円
------	-------------------------	------	-------

事業の内容、成果等

● 事業実施の背景・地域国際化の現状・国際化に向けた課題等

外国人防災リーダー（多文化レスキューユース「TRYangels」トライエンジェルスと命名）として活動していく中で、依然として住民からは、災害発生時の多言語による災害情報発信提供の要望が高く、不安が解消されていない状況が見られる。外国人防災リーダーとして、母国語による防災活動を実施しているが、災害時でも多言語による災害情報を提供し、外国籍市民等の不安解消を図ることが課題であった。

● 事業の趣旨・目的

防災に関する知識・技術を習得した「外国人防災リーダー」が持ち前のコミュニケーション力を活かし、大地震等の災害発生時に地域の外国籍市民等に対し、多言語による災害情報の提供・相談を行い、外国籍市民の不安解消を図る。

また、外国籍市民という災害時の要支援者という立場になるケースが多いが、「地域に助けられる側」から「地域を助ける側」へと発想を転換して地域の防災リーダーとしての活動に対し支援し育成する。

● 事業内容

1 地域防災運営委員会と連携した訓練

- (1) 開催場所： 防災拠点 いちよう小学校
- (2) 参加人員： 地域住民 430人
- (3) 訓練内容： 訓練本部と連携して、多言語による災害情報の提供訓練、防災グッズ等の展示及び相談コーナーの設置



多言語受付と相談コーナー&多言語による訓練の説明



防災グッズの展示と説明を多言語で実施

※ TRYangelsは、日本語+母国語ごとに色分けされた紐の認定証を首から掛け、そろいのキャップをかぶり活動しています。

## 2 活動マニュアルの作成及び研修

### 災害個人装備の整備

TRYangels



災害時活動マニュアル



ユニホームを着て訓練に参加した TRYangelsのメンバー



個人装備のヘルメット・キャップライト・ゴーグルとユニホーム

※ TRYangelsは、全員横浜防災ライセンス講習（避難生活資機材・救助資機材の取り扱い）及び普通救命講習を受講

## 3 近隣三都市合同消防総合訓練参加

- (1) 開催場所：いちょう団地
- (2) 参加人数：団地住民約300人
- (3) 訓練内容：藤沢市、大和市、横浜市（泉・瀬谷消防署）、連合自治会、外国人防災リーダー(TRYangels)が連携した消防総合訓練



三都市合同の消防総合訓練に参加した TRYangels

- ・ 避難誘導訓練
- ・ 放水訓練
- ・ 応急救護訓練
- ・ 多言語による広報活動及び訓練本部との連携した市民への情報提供



多言語による消防広報と応急救護所での救命活動

## ● 工夫(苦労)した点

国籍・文化の違いがある中で事業を推進するにあたり、一番大切にされたことは、多様な文化背景を持つ人達の災害支援に関するニーズを知ることである。

外国人防災リーダー(TRYangels)と連携し、地域で開催されている多文化共生事業などに積極的に出向き、対話やレクリエーションへの参加等を通して、コミュニケーションを図り、外国籍市民とのネットワークを広げることにより、様々な場面で意見交換を行うことが出来た。



## ● 具体的な成果

防災拠点訓練の中で、訓練本部と連携して多言語による情報提供発信基地を設置するとともに、訓練参加者に情報提供訓練を実施し、参加市民からも賛同され、更に充実した体制作りを期待された。

TRYangelsのメンバーは、更に活動の幅が広がり市民の期待を実感し、「防災の担い手」から「地域の担い手」を目指して士気が向上した。

※ 実災害時に中国語・ベトナム語による現場広報を実施、  
外国籍の住民に対し災害情報を伝えることができた。



※ 泉消防署広報班に同乗して、災害現場付近の  
コールドゾーンで広報を実施

## ● 今後期待できる効果

事業を実施することにより、外国籍市民の災害時の不安解消が図られ、安心して地域で生活することが可能となる。

また、防災活動を通じ、地域へ関わることにより、外国につながる若者の人材育成を行い、地域社会への参画・自立への期待と支援を行う。